

野中古墳と 「倭の五王」の時代



主催：大阪大学大学院文学研究科・大阪大学総合学術博物館

協力：大阪大学21世紀懐徳堂

野中古墳出土7号甲冑(大阪大学蔵)

会期：2014年2月1日(土)～3月22日(土)

休館日：日曜・祝日

開館時間：10時30分～17時

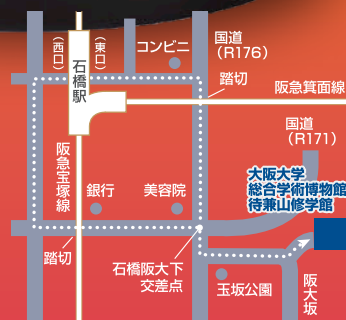
入館料：無料

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

住所：〒560-0043 豊中市待兼山町1-20 TEL:06-6850-6284

URL：<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

アクセス：阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分 ※公共交通機関をご利用下さい。



野中古墳と「倭の五王」の時代

古市古墳群の実像に迫る!!

1964年に大阪大学文学部により発掘調査された大阪府藤井寺市の野中古墳は、国の「世界遺産暫定リスト」に記載された古市古墳群のなかでも、出土資料が質・量ともにもっとも充実した古墳です。

とくに、11領が出土した鉄製甲冑(よろい・かぶと)は、わが国でも屈指の出土量を誇ります。そのうちの3領の襟付短甲は、全国で10ヶ所も出土しておらず、冑に付けられた三尾鉄という装飾品も、金銅が用いられたものは類例がありません。このように、野中古墳の出土品は学術的価値の高いもの

がそろっています。そのため、中国の歴史書にみえる「倭の五王」が活躍した5世紀、古墳時代中期を代表する資料として評価されています。

このたび、同古墳から出土した甲冑類について、文化庁の補助金などにより新たに保存修復作業を行うことができたことから、これらの修復の成果を一堂に会して披露いたします。

あわせて、大阪大学が調査を行ってきた河内周辺での古墳調査の出土品なども陳列し、謎の多い「倭の五王」の時代の解明に向けた取り組みについて展示したいと思います。

主な展示資料

- 《野中古墳出土品》 甲冑、刀剣、鉄鏃、石製模造品、陶質土器、須恵器、埴輪(以上、大阪大学蔵)、滑石製品、埴輪(以上、藤井寺市教育委員会蔵)
- 《アリ山古墳出土品》 鉄製農工具、鉄鏃
- 《駒ヶ谷宮山古墳出土品》 三角縁神獸鏡、内行花文鏡、勾玉、管玉、石釧
- 《駒ヶ谷北古墳出土品》 方格規矩鏡
- 《ヌク谷北塚古墳出土品》 三角縁神獸鏡、腕飾形石製品、勾玉、管玉
- 《真名井古墳出土品》 三角縁神獸鏡、管玉、鉄鏃、鉄製農工具(以上、大阪大学蔵)
- 《墓山古墳出土品》 勾玉、形象埴輪(以上、京都大学総合博物館蔵)、人物埴輪(大阪府立近つ飛鳥博物館蔵)

*野中古墳発掘調査風景などの映像展示も行います

講演会

河内に古市・百舌鳥古墳群が築かれた「倭の五王」の時代には、「河内政権」が存在したのではないかと、学界では議論になっています。この講演会では、謎に満ちた日本古代史にせまる最先端の考古学研究をご紹介します。

河内政権への道

2014年3月1日[土]13時-15時40分

大阪大学基礎工学国際棟Σ(シグマ)ホール

(大阪大学豊中キャンパス内) *博物館ではありませんのでご注意ください。

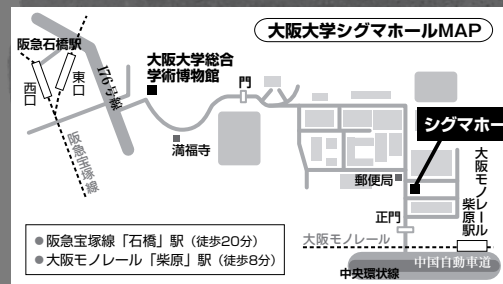
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-3

参加費: 無料 (申し込み不要、当日先着順230名)

お問い合わせ先: TEL.06-6850-5106[大阪大学考古学研究室]

日程

- | | |
|-------------|---|
| 12:30 | 受付開始 |
| 13:00 | 開会 |
| 13:05~13:30 | 「野中古墳の発掘調査と出土品の保存修理」 / 中久保 辰夫: 大阪大学埋蔵文化財調査室助教 |
| 13:30~14:30 | 「野中古墳の武器と古墳時代の軍隊」 / 豊島 直博: 奈良大学文学部准教授 |
| 14:40~15:40 | 「古市・百舌鳥古墳群と世界の王陵」 / 福永 伸哉: 大阪大学文学研究科教授 |



*公共交通機関をご利用ください。